

第 1 部 総 説

第1章 柏市の概況

1 位置、地形及び気象

本市は、千葉県の北西部に位置し、市の北部は利根川及び運河を挟んで茨城県及び野田市に接し、東部は我孫子市、印西市及び手賀沼、南部は鎌ヶ谷市、南東部は白井市、西部は流山市及び松戸市に接しています。東西の距離は約18.0km、南北の距離は約15.0kmであり、面積は114.74km²です。

鉄道は、東西にJR東日本・常磐線が乗り入れ、南北に東武鉄道・東武アーバンパークラインが通り、南部に北総鉄道が通っています。また、平成17年8月24日に開業したつくばエクスプレスは、本市の北部を通り市内に二つの駅が設置されています。これらの駅を中心として、沿線地域の土地区画整理事業などのまちづくりと、柏市域の交通を充実させ、沿線地域を活性化する効果が期待されています。道路では東京・茨城方面への国道6号や常磐自動車道、埼玉・千葉方面への国道16号が通り、首都圏の放射・環状両方向の交差点に位置する交通の要になっている他、南部に国道464号線が通っています。

標高は約0～31mのほぼ平坦な地形で、北総台地の中央部に位置しこの台地の中に手賀沼に流入する大堀川、大津川によってできた谷津と呼ばれる侵食谷が入り込んでおり、台地を分断する形となっています。

北部は利根川河川敷や遊水地が広がり、低地を形成しています。

また、手賀沼、大堀川、大津川周辺には、斜面林や谷津田が多く存在し、都市化の進む首都圏の中であって、貴重な環境資源となっています。

気候は、温暖な千葉県の中では、冬の気温が比較的低温で、ここ5年間の平均気温は16.3℃であり、最高気温は38.3℃、最低気温は-5.1℃です。

年度別気象の状況

(永楽台測定局)

年度	気温 (℃)			平均湿度 (%)	降水量 (mm)
	最高	最低	平均		
平成28年	37.4	-3.7	15.8	70	1,400
平成29年	37.6	-4.0	15.5	72	1,415
平成30年	37.8	-2.4	16.6	71	1,059
令和元年	36.7	-4.2	16.4	73	1,695
令和2年	37.5	-4.9	16.2	73	1,308
令和3年	37.3	-5.1	15.8	72	1,665
令和4年	38.3	-3.8	16.4	74	1,323

2 人口

昭和29年市制施行時、4万人余であった人口は、東京都のベッドタウンとして、急激な人口増加を続け平成元年には30万人を突破しました。

平成元年頃から人口増加のペースは鈍化していますが、平成17年に沼南町との合併により新市の人口は約38万人となり、また、同年のつくばエクスプレス開業以降、北部地域総合整備事業等の推進により、緩やかな人口増加が続いています。

人口と世帯数の推移

(各年10月1日現在)

年	人口	世帯数	人口密度 (km ² 当り)	備考
昭和30年	45,020	8,586	611	国勢調査
昭和35年	63,745	13,678	864	国勢調査
昭和40年	109,237	27,746	1,496	国勢調査
昭和45年	150,635	40,216	2,064	国勢調査
昭和50年	203,065	57,445	2,782	国勢調査
昭和55年	239,198	73,172	3,277	国勢調査
昭和60年	273,128	84,271	3,742	国勢調査
平成2年	305,060	100,359	4,183	国勢調査
平成10年	322,269	116,287	4,420	国勢調査
平成15年	332,690	127,976	4,563	常住人口調査
平成20年	397,446	157,926	3,459	常住人口調査
平成25年	406,395	167,857	3,537	常住人口調査
平成26年	408,198	170,875	3,553	常住人口調査
平成27年	414,054	175,479	3,609	国勢調査
平成28年	417,294	178,901	3,637	常住人口調査
平成29年	420,824	182,382	3,668	常住人口調査
平成30年	424,322	185,715	3,698	常住人口調査
令和元年	429,070	190,058	3,739	常住人口調査
令和2年	426,468	188,022	3,717	国勢調査
令和3年	429,918	191,847	3,747	常住人口調査
令和4年	432,450	194,837	3,769	常住人口調査

(注) 国勢調査年以外の人口は千葉県毎月常住人口調査結果による。

3 土地利用と都市計画

本市の土地利用の状況は、都市化に伴い、農地、山林が減少し、宅地が増えてきました。また、土地利用の基本となる区域区分については昭和45年に市街化区域54%市街化調整区域46%を指定し、さらに昭和48年に市街化区域について用途地域の指定を行いました。

平成8年に市の南部を対象に緑住都市構想を、北部を対象に緑園都市構想を、平成12年に中央を対象にライブタウン構想を策定し、緑や環境と調和し快適で活力のあるまちづくりを推進しています。

平成11年3月には常磐新線建設に伴う一体型土地区画整理事業による緑園都市構想の推進に向けて、市街化区域を約64%にしました。

平成17年3月28日に沼南町と合併したことで市域が広がり、農用地及び山林が大幅に増加しました。また、市街化区域の割合は47.7%となりました。

今後とも、水と緑が豊かな、環境負荷の少ない環境と共生するまちづくりを推進していきます。

土地利用状況 各年1月1日現在

(単位：km²)

区分 年度	農用地			宅地					山林	原野	その他	合計	
	田	畑	小計	住宅	工業	商業	その他	小計					
平成10年	7.5	10.5	18.0	17.8	1.6	0.6	2.3	22.3	4.7	0.6	27.3	72.9	
平成16年	柏	7.0	9.6	16.6	21.4	1.7	0.5	3.5	27.1	4.1	0.8	24.3	72.9
	沼南	8.0	7.5	15.5	-	-	-	-	6.0	5.5	0.1	14.9	42.0
	全体	15.0	17.1	32.1	-	-	-	-	33.1	9.6	0.9	39.2	114.9
平成17年	柏	7.0	9.5	16.5	21.6	1.7	0.5	3.5	27.3	4.0	0.8	24.3	72.9
	沼南	8.2	7.5	15.7	-	-	-	-	6.0	5.5	0.1	14.7	42.0
	全体	15.2	17.0	32.2	-	-	-	-	33.3	9.5	0.9	39.0	114.9
平成18年	15.2	16.7	31.9	24.3	2.2	0.7	6.6	33.8	9.4	0.9	38.9	114.9	
平成19年	15.1	16.6	31.7	24.7	2.2	0.7	6.6	34.2	9.1	0.9	39.0	114.9	
平成20年	15.1	16.4	31.5	24.9	2.2	0.7	6.9	34.7	8.8	0.9	39.0	114.9	
平成25年	14.1	16.0	30.1	28.3	2.5	0.9	4.3	36.0	8.0	0.8	40.0	114.9	
平成26年	14.0	15.9	29.9	28.6	2.5	0.9	4.2	36.2	7.9	0.8	40.1	114.9	
平成27年	14.0	15.7	29.7	28.9	2.5	0.8	4.2	36.4	7.8	0.8	40.2	114.9	
平成28年	14.0	15.5	29.5	29.1	2.6	0.8	4.2	36.7	7.7	0.8	40.2	114.9	
平成29年	14.0	15.2	29.2	29.5	2.6	1.0	4.2	37.3	7.4	0.6	40.3	114.9	
平成30年	14.0	15.0	29.0	29.8	2.7	1.0	4.2	37.7	7.3	0.6	40.3	114.9	
令和元年	14.0	14.8	28.8	30.0	2.7	0.9	4.2	37.8	7.3	0.6	40.4	114.9	
令和2年	13.9	14.6	28.5	30.1	2.7	1.0	4.2	38.0	7.2	0.7	40.5	114.9	
令和3年	13.9	14.5	28.4	30.3	2.7	0.9	4.2	38.1	7.1	0.7	40.6	114.9	
令和4年	13.9	14.4	28.3	30.4	2.7	0.9	4.2	38.2	7.1	0.7	40.6	114.9	

(注) 固定資産税概要調書による。沼南については千葉県統計年鑑より。

柏は旧柏市の地域、沼南は旧沼南町の地域

都市計画の決定状況

(令和5年3月31日現在 面積：h a)

区 分		全体		市街化区域内 構成比(%)
		面積	構成比(%)	
全市域		11,490	-	-
都市計画区域		11,490	-	-
市街化区域		5,484	47.7	100
内 訳	第1種低層住居専用地域	2,636	22.9	48.1
	第2種低層住居専用地域	21	0.2	0.4
	第1種中高層住居専用地域	315	2.7	5.7
	第2種中高層住居専用地域	15	0.1	0.3
	第1種住居地域	1,302	11.3	23.7
	第2種住居地域	229	2.0	4.2
	準住居地域	168	1.5	3.1
	近隣商業	111	1.0	2.0
	商業地域	85	0.7	1.5
	準工業地域	169	1.5	3.1
	工業地域	197	1.7	3.6
	工業専用地域	236	2.1	4.3
市街化調整区域		6,006	52.3	-

(注) 総数の単位未満については、四捨五入のため内訳と一致しない。

4 下水道計画

本市の公共下水道事業は、昭和35年に柏駅を中心に単独公共下水道の整備に着手し、昭和42年には十余二工業団地を対象に特定公共下水道を整備しました。

昭和56年から手賀沼流域下水道の供用を開始し、平成3年から江戸川左岸流域下水道の供用を開始しています。

また、平成11年度から単独公共下水道区域を手賀沼流域下水道に接続し、平成21年度から特定公共下水道を手賀沼流域下水道へ接続しました。

令和4年度末の処理区域面積は約4,820h a、普及率は90.7%となっています。

下水道普及状況

(各年度3月31日現在)

年 度 区 分	年 度				
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
処理面積(h a)	4,672	4,763	4,787	4,800	4,820
処 理 世 帯	172,876	176,927	180,590	183,038	186,568
水洗化世帯	157,368	162,339	165,727	167,124	170,573
下水道処理人口普及率(%)	90.3	90.3	90.5	90.6	90.7